令和５年度社会福祉法人ひまわり会事業報告

『 多くの皆さんの期待に応え、永続性あるひまわり会に』

ひまわり会の理念をもとに、永続性のあるひまわり会を目指し、さらに、利用者さんの期待に応える支援を目指して、職員一丸となって運営に取り組んでまいりました。

そのためには、職員が働き甲斐、やりがいのある職場環境が必要となり、改善を目指して取り組んできました。

Ⅰ 法人の令和５年度の運営総括

1 障がい福祉を取り巻く環境とひまわり会の永続性の確保

(1)障がい福祉への国の政策は好転せず、諸物価の高騰など社会環境の変化の影響もありましたが、法人が安定して運営できるよう法人運営上の諸規程の改革を進め、必要な施設整備なども行いました。

(2)業務継続計画の策定、必要な職員研修は確実に行われました。

反面、国からの報酬が、法人の実態に対して不充分な面もあり、財務的には厳しい面がありました。そのため、利用者さん・保護者の皆さんが望む支援ができていない面があります。

(3)そのような中でも、職員が連携協力し、支援してくださる多くの皆さんの力をお借りしながら、さらに信頼され、永続性のあるひまわり会に向けて努力してまいりました。

(4)職員の確保に努力し、6年度に向けて新たな職員を２名採用でき、看護師もパート職員から正規職員へ昇格させることができました。しかし、必要な職員確保にまでは至っておらず、引き続き採用に取り組む必要があります。

2 利用者さんのよりよい支援に向けて

(1)新たに、7名の利用者さんに法人の利用を選んでいただきました(ひまわり園１名、すてっぷ２名、はっぴいウイング４名)。

新たな利用者さんも含めて、喜んで通所していただき、仕事にもやりがいを持ってもらえるよう、ケース検討会を行い、研修も積み、寄り添う支援を目指してきました。

(2)４月スタート当時は、101名の利用者さんでしたが、２名の方がそれぞれの事情で退所されました。近年は、ご家庭での支援が難しくなり、施設入所される方が増えてきているのが現状です。われわれが提供するグループホーム事業等の運営が必ずしも十分でないことも一因と思われます。

3 コロナウイルス感染防止への対応と対外的な活動

(1)ひまわり会は、美山病院さんの協力を得て、ワクチン接種を行い、マスク着用や消毒、換気を行い、感染防止に引き続き努めており、数人の感染者はおりましたが、感染の広がりは防げております。

(2)事業所ごとの外出支援に取り組み、対外的な行事にも参加することができ、利用者さんには喜んでいただきました。

(3)授産事業でも、市内外の販売会が復活し、販売も行うことができ、売り上げも徐々に戻りつつあります。

Ⅱ 「ひまわり会の永続性の確保」のための基本と具現化について

1 利用者さんのやりがい、生きがいのある法人であること
2 保護者の皆さんや地域に貢献できる法人であること
3 財務を安定させ、持続可能な法人となること
4 職員の働き甲斐のある法人であること

を、具現目標に掲げ、取り組んでまいりました。

1 利用者さんのやりがいと生きがいのある法人になるために

(1)利用者さんに寄り添い、望む支援ができるよう、ケース検討会や日々の実践の中で情報を共有するとともに、家庭とも連携を密にして支援を行ってまいりました。

(2)必要な研修を年間計画で立て、一日研修日や土曜日等も利用し、全員研修を中心に研修を重ね、法人として安定した運営ができ、個々の利用者さんにあった支援ができるよう心がけてきました。

(3)コロナの感染を防止しながら、可能な生活支援、外出支援、行事に取り組みました。

○お花見(各事業所)4月
○開園記念行事(各事業所) 6月
○日帰り旅行(各事業所) 9月ひまわり園、はっぴぃウイング 10月すてっぷ
○ひまわり祭り 10月15日 ひまわり園
○にこにこふれあい運動会 10月7日 Zアリーナ
○アテルイの郷芸術祭 11月25日 江刺総合コミュニティセンター
○リフレッシュ教室・お楽しみ会 2月27日 ひまわり園
○土曜生活支援(すてっぷ)
○余暇活動(はっぴぃウイング) 随時
○クラブ活動(ひまわり園) 月1回水曜日午前

(4)利用者さんや法人運営に関わる必要な研修や委員会等の設置と開催

○救命救急講習受講
○福祉サービス運営適正化推進会議の開催 12月4日 はっぴぃウイング
○防火管理者講習受講

(5)授産事業の工夫をしながら、工賃の確保、向上に努めます。

○販売事業所の開拓
○食品材料などの高騰による価格の見直し
○新製品の開発

2 保護者の皆さんや地域に貢献できる法人になるために

(1)保護者の皆さんからの日々の連絡ノートからの情報や、奥州市自立支援協議会からの情報等により、保護者の皆さん、さらに地域のニーズをつかみ、応えることができるところから取り組んでまいりました。

(2)情報発信に取り組みました。

○必要に応じた家庭連絡の文書の配布
○毎月の施設ごとの通信
○年2回の後援会報発行
○ホームページ、フェイスブック等を通じて情報発信

課題でしたが、後半には必要な情報をホームページにアップしています.
日常的な更新に向けて取り組みたいと思います。

3 財務を安定させ、持続可能な法人になるために

(1)常に収支に注目しながら、必要な対応をとるとともに、設備・備品・保険などの受注については、競争入札制を導入して経費の削減に努めました。

(2)すてっぷの土地・建物の寄贈

後藤逸夫氏より、寄贈を受けたことにより、家賃などの支払がなくなり経費の削減につながるとともに、今後、法人の財産として活用できることになり、感謝いたします。

土地・建物合計評価額 2480 万円

(3)新たな利用者さんや大学・専門学校の生徒に選ばれる法人になるために、

① 前沢明峰支援学校の生徒の実習の実習を受け入れ、新たな 2 名の利用者の受け入れに繋げました。

② 盛岡大学短期大学部、専修大学北上福祉教育専門学校の生徒の実習受け入れにも取り組みました。

4 職員の働き甲斐のある法人になるために

(1)職員の運営、各種会議やへの参画をさらに進め、やりがい生きがいを感じられるように取り組みました。

○施設代表者会議 毎月
○業務継続計画の作成委員会への参画
○研修委員会等への参画

(2)勤務環境や待遇の改善を進め、働きやすい環境づくりのため

○就業規則の改正
○給与の改善 全体的な給与アップ 中途採用者の給与是正 パート職員の時給アップ

(3)それぞれの職員が、利用者支援や法人運営にかかわるためのレベルアップを目指せるように、研修の充実に努めました。

○新任職員研修会 4 月 3 日~5 日
○一日対外事業所視察研修 6 月 21 日(水) 各事業所別に
(グループホームは 7 月 1 日、15 日)
○コンプライアンス研修 9 月 2 日 ひまわり園
○虐待防止・身体拘束適正化研修会 11 月 29 日 上姉体会館
○除雪機免許取得講習
○テールゲートリフター操作業務特別教育の受講 1 月 17 日、24 日
○サービス管理者研修(更新研修、相談支援)
○感染症予防及びまん延防止のための研修 2 月 22 日 上姉体会館

Ⅲ 法人内各事業所の状況

1 法人事務局

(1)会計処理について

① 正確を期して取り組むとともに、期日を守るよう心がけてきました。

② 法人として、全ての現金処理について、正しく処理されるよう、また、複数の目によりチェックできる体制を整え、実施してきました。

(2)給与・賞与等の計算・支給事務処理について

① 特定の職員に業務が偏ることなく、マニュアル作成を行うことにより、複数の職員が関わることができるようにしました。

② 給与計算だけでなく、合わせて健康保険料、住民税の特別徴収等の徴収事務処理も正確を期すため、複数の目でチェックする体制を整え、実施しました。

(3) 予算決算関係について

① 定時に行わなければならない、書類作成を計画的に進めるよう心がけました。

② 予算執行状況を精査して補正予算を作成することができました。

③ 決算については、新たな担当職員に引き継ぎながら、作成することができるように取り組みました。

④ 福祉・介護職員処遇改善加算等は加算額・交付金額を常に確認しながら、給与等の支給が用件を満たしているかどうか確認しながら行いました。

(4)理事会・評議員会・監査について

① 資料を1週間前に役員等に届けられるように取り組むとともに、状況に応じて書面議決も行いました。

② 経理の正確性を担保するため、出納調査以外にも監事による業務監査も行うことができました。

③ 議事録の作成は、早期に行うことができました。

(5)職員の各種手続きについて

① 職員の採用・退職に関わる各種手続きに遺漏がないように努めた。勤務条件通知書も早期に出せるように心がけました。また、パート職員の採用は各施設長が行うように簡素化しました。

② 就業規則や給与規程を改正し、職員が働きやすく、また各種休暇・休業等をとりやすくしました。また、職員の給与の改善も行いました。

(6)各担当の業務について

① 保護者会関係、後援会関係、日中一時関係、親睦会関係、給食発注関係など、対応すべき事務処理などについて期日を守り正確に行うよう心がけました。

(7)今後の方向性について

① 仕事内容が一人の職員だけでなく、複数の職員が関わることができるように、仕事分担を検討し、改善に努めています。

② 法人事務局として、会計や事務処理に留まらず、あるべき方向性を提言できるような、法人事務局を目指すように取り組んでいきたいと思います。

2 ひまわり園

(1)全体の運営状況について

① 4月に新規利用者1名を受け入れ、就労継続支援B型事業20名、生活介護事業30名、計50名でスタートいたしました。職員32名を配置しての運営となりました。

重度の障がいを抱える利用者や、高齢による身体機能の低下などの課題があるなか、すべての利用者が就労への取り組みを行い、その人の状況に応じた工賃を支給することができました。

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、日帰り旅行をはじめ、各種の行事に取り組むことができました。

② 財務状況については、事業活動収支においては均衡を保ちましたが、利用者の体調不調等により施設利用ができなかったことが要因となり、令和5年度の収支差額において、319万円ほどのマイナス計上となっています。

職員については、研修を積極的に取り組み、個人の資質向上に努めるとともに、職員間の連

携を図りながら利用者支援を行うことができました。
また、働き方改革をすすめ、休憩時間取得など労務環境の改善に取り組むことができました。

(2)利用者さんの支援について

① 職員の利用者担当制による支援としていますが、全職員が利用者個々の担当者という認識を持ち、個別支援計画に基づき、その利用者さん個々の心身の状況等に応じて適切に行うことができました。個別支援計画の内容について、利用者及び家族に対して説明する機会を設け、ご家族の意向を反映しながら計画を作成することができました。

利用者さんについて、その心身の状況、その置かれている環境、その利用者個々の希望等の把握（アセスメント）を行い、同意を得た上で、個別支援計画を作成し支援にあたることができています。

② ご家族との連絡ノートを活用し、日々の利用者の状況をお知らせするとともに、ケース記録に日頃の利用者の状況を記録し、常に経過を把握できるよう、サービス管理責任者、管理者（施設長）、担当職員と情報共有を行い、必要に応じてサービス提供の見直しを行いました。

(3)授産事業について

担当科（①パン制作科、②菓子製作科、③リサイクル科、④受託加工科、⑤クリーン科）ごとに年間目標額を定めて取り組むことができました。

○ 授産事業の状況 【単位＊円】

区 分	パン製作科	菓子製作科	受託加工科	リサイクル科	クリーン科	合 計
目標額	3,064,000	2,170,000	1,109,400	2,285,000	489,200	9,117,600
実績額	4,154,592	2,338,619	1,000,945	2,205,448	489,200	10,188,804
差 異	1,090,592	168,619	△108,455	△79,552	0	1,071,204

利用者さんへの工賃支給は、月支給額計 4,103,461 円、手当（夏季・冬季・期末）支給額計 1,583,824 円、合計 5,687,285 円を支給することができました。就労継続支援 B 型利用者（20名）の平均月額工賃は 14,086 円となり、令和4年度と比較すると 1,022 円増えています。全利用者さんの日額工賃は、280 円から 600 円までとなっています。

（4）成果と課題について

① ひまわり園においては、できる限り利用者の個別支援を見据えた対応が必要であり、具体的には、就労支援事業と生活介護事業における事業目的に合致した支援のあり方をどうしていくか、現行の施設機能では、十分な支援対応ができない課題があります。

② また、施設も経年劣化し、手狭となり、施設機能を十分に発揮できないことや、生活介護事業と就労継続支援事業のすみわけを視野に入れると、利用者人員の見直しや利用者の障がい区分による施設の統合または新設（増設・改修）はどうあるべきかを検討していきます。

3 すてっぷ

(1)全体の運営状況について

① 運営方針に対しての状況

就労支援事業で得る工賃が、生活費の中で大きなウェイトを占めているため、仕事に関しての支援と合わせて、収入面で少しでも多くの工賃を支払い利用者さんの支えを考えていくように運営の基本を考えておりましたが、一昨年に廃止した給食製造業の売り上げの落ち込みが原因で利用者さんへの工賃支払い額が下がってしまいました。

② 財務的状況

令和 4 年度に比べ新規利用者が増えた分、障がい福祉サービス等事業収入が増え、若干

改善されたと思います。(就労支援事業収支に関しては、給食製造の数字の出入りが影響)

③　職員の状況

夏より常勤職員が体調を崩し、病欠のまま年度末に退職しました。そのため、送迎を含め、かなり人的動きが制約された中で、職員に無理を強いた中での運営となりました。

④　施設設備の状況

人的不足により予定していた売店の再開のための修繕までは手が回りませんでした。

⑤　その他

運営面、就労支援を含めた全体の動きとして、人的不足による悪影響が大きかったです。

(2)利用者さんの支援について

①　支援方針に対しての状況

感染症やこの間の様々な不安による精神面での支えは、限られた職員ではあったが問題なく支援方針通り行うことが出来ました。

②　具体的な利用者さんの支援状況

生活支援や日帰り旅行など、この間、感染症予防の観点から活動にかなりの制約がありました。コロナの 5 類移行に併せ、最大限の感染予防をしながら、仕事一辺倒ではなくメリハリのある活動が出来ました。

(3)授産事業について

①　取り組んだ授産事業

前年度の通りですが、菓子の新規取引先として、株式会社小岩井農牧、株式会社おてんとさんなどがありました。小岩井農牧に関しては、自主製品での OEM 商品制作で試作を続けています。また、地域のイベントへの出店も再開しました。

②　売り上げの状況

人がおらず、かなり制約された中でしたが、給食事業を除いた前年度以上の売上を作り、様々な見直しの結果、工賃以外での収支差額では改善が見られました。

③　利用者さんの工賃

平均工賃が前年度より 3,000 円程下がってしまいました。

(4)成果と課題について

職員が不足している中で、常勤職員、パート職員とも一丸になり、この難局を乗り越えようと笑顔で事故無く頑張ってきました。そこがとても大きな成果だと思います。次年度は、感染症予防を継続しながら、地域の中に利用者さんの顔の見える仕事を行いたいです。

4 はっぴぃウイング

(1)全体の運営状況について

①　利用者さんと職員の状況

令和 5 年度 4 月に 4 名の新規利用者を受入れ、利用者 27 名職員 18 名での運営となりました。途中 1 名の利用者が退所、常勤職員 1 名非常勤職員 1 名が退職しました。(看護師 1 名退職も 1 名補充)配置基準を下回ることはありませんでしたが、募集をしてもなかなか採用まで至っておりません。引き続き、採用できるよう努めてまいります。

②　職員の働く環境

このような状況でしたが、「ひまわり会の目指すもの」を基本方針に、労務環境の改善、虐待防止、災害時への取組を実施いたしました。遠距離の送迎、男性職員不足による異性への介助については、時間をかけて改善が求められます。

③　財務状況と施設整備

新規 4 名の利用者が増えたことにより収入が増加いたしました。支出についても当初の予算の範囲内での対応となり、法人へ財政的に貢献することができました。

施設設備の状況についても、開設から９年目をむかえ、少しずつ修繕する箇所が増加しておりますが、令和５年度中に全て修繕することができました。

(2)利用者さんの支援について

①　活動内容の見直し

令和５年度は活動内容を今一度精査しました。はっぴいウイングに通所する利用者の状況と生活介護事業の内容を鑑み、あらたに胆江地域リハビリテーション広域センターさまに作成していただいた基本動作能力の回復や維持、および障害の悪化の予防を目的としたリハビリを導入いたしました。

②　音楽療法と外出支援

コロナウイルス感染症拡大以前は、音楽療法を月１回実施しておりましたが、コロナウィルスの対応が２類から５類に変わったことを機会として、奥州市水沢南大鐘在住八幡一恵先生をお招きし、月に１度リトミック教室という形で、再開いたしました。

日帰り親睦旅行も令和５年度は再開することができ(行先:小岩井農場)、制約のない活動を楽しむことができました。

③　コロナウイルスの対応

２類から５類に変わり、その影響からか、令和５年５月以降、職員・利用者のコロナウィルスへの感染が拡がりました。はっぴいウイングの利用者のほとんどが重度の障がいをお持ちの方です。一旦ウィルスが事業所内に持ち込まれると、収束するまで１ヵ月以上を要することになってしまいました。職員間での年２回のウィルスへの対応についての研修会を実施したものの、今年度の教訓を礎に、今後も引き続き感染予防に努めていく必要があります。

(3)授産事業について

生活介護事業での活動の一環としての作業であるという方針を職員一同再度確認し、障がいの程度に関係なく工賃をお支払いする内容に工賃規程を令和５年12月より工賃規程を一部改正いたしました。また、作業内容はリサイクル回収・分別を中心に据えるように、内容を精査いたしました。

5 グループホームひまわり荘

(1)全体の運営状況について

①　運営方針に対しての状況

地域のグループホームで規則正しい生活と体調管理、余暇を楽しみ充実した生活を送れるよう支援を行っています。

②　財務的状況

南大鐘のひまわり荘５人定員のところ、１人空きがあるので、収入減になっています。

障害程度の重い方が多いので、職員の人数が多く必要なため、人件費が高くなっています。

③　職員の状況

数年前から世話人の欠員が続いており、センター職員や施設の職員の応援を得ていましたが補充されつつあります。

④　施設設備の状況

「あい」「ゆう」開所から13年が経過し、所々修理するところが増えてきました。

「柿の木荘」障害者区分4の方が４名になったので、グループホーム消防法の基準により、スプリンクラーを設置しなければならず整備を行いました。

(2)利用者さんの支援について

①　支援方針に対しての状況

入居されている利用者さんの高齢化に伴い、障害特性の他に体力低下、体調不良等にも対応していますが、徐々に支援度が高くなってきています。

親御さんも高齢になり、怪我、病気等で長期入院を余儀なくされ、帰省できないことで不安定になっている方が数人おります。

② 具体的な利用者さんの支援状況

通院同行、入院手続き、余暇活動支援、入浴支援、食事準備、清潔管理等

(3) 成果と課題について

① ハード面については法に基づいて整備しました。

② ソフト面は利用者さんそれぞれの希望にこたえられるよう支援をしてきました。

③ 利用者さんが年齢を重ねるうちに自立するのではく、高齢の親御さんへの依存度が高く、「家に帰りたい」思いを強く訴える利用者さんの対応について親御さんの負担を考え、対策を考えていいきます。

③ 利用者さんの重度高齢化に伴う健康支援に対応するため、医療職の配置を検討する必要があります。

6 相談支援事業所ひまわり

(1) 全体の運営状況について

① 運営方針に対しての状況

「多くの皆さんの期待に応え、永続性あるひまわり会に」との方向性のもと、利用者の皆様・保護者様の期待に応えられるよう、奥州市基幹相談支援センター等と連携し通年相談支援を行いました。

② 財務的状況

契約利用者の死亡、サービス終了、転居等による減や報酬単価の低さから事業活動収入が昨年度より減収、同支出の微増により収支差額は昨年度よりもマイナスが増え、当期末支払資金残高はマイナスとなりました。

③ 職員の状況

職員2名体制で利用契約者80名のサービス等利用計画及び奥州市障がい者等相談支援事業の委託を受け業務に当たりました。丁寧な相談に心がけつつも一方では効率的な業務も求められています。今後の職員配置転換も踏まえ、新たな相談支援専門員の配置も課題と言えます。

④ 施設設備の状況

相談支援に使用するパソコンソフト東経システムの「福祉見聞録」使用には、ひまわり園に出向いての業務となっており、必要時すぐに使用できない現状があります。

また、現事業所ははっぴいウイング内にありますが、相談に来訪いただいた一部の方に利用者の障がいの特徴について苦手な部分があり、静かに相談できる環境を求められた経緯もあり、今後の課題です。

⑤ その他

主に相談支援事業所が使用している公用車について、一部の相談者の方から事業所名入りの車での訪問について配慮を求められたことから、車の法人標記をマグネット式にして着脱が自由にできるようにしました。

(2) 利用者さんの支援について

① 支援方針に対しての状況

利用者さんが希望する生活を送ることができるよう、ご本人・ご家族の意思及び人格を尊重し、その立場に立ち相談支援に努めました。

② 具体的な利用者さんの支援状況

強化型利用支援62 件、強化型継続支援254 件、サービス提供時モニタリング加算480件、担当者会議3件

③　その他、状況に応じた自宅・事業所等の訪問、確認等。

Ⅳ 関連組織との連携

1 ひまわり会後援会

○後援会役員会　5月16日 ひまわり園
○後援会報の発行　7月、2月
○法人への寄付 112万円

2 ひまわり会保護者会

○利用者誕生会への補助 1人1000円
○ひまわり祭りへの援助

3 水沢ひまわり手をつなぐ会

○研修会への参加　7月15日、12月3日、2月22日 水沢地区センター
○ひまわり祭りバザー開催 法人への寄付

Ⅴ その他

1 公演など

○GCE(グレイトフルクレインアンサンブル)のロスアンジェルスの日系の皆さんの公演と交流
10月17日 姉体地区センター体育館、上姉体会館
○大相撲観戦希望者の招待 8月8日 Zアリーナ 奥州市相撲協会

2 植樹

○ソメイヨシノ1本 4月18日 水沢中央ライオンズクラブ様 はっぴいウイング

3 寄附(5万円以上)

○後藤文子様30万円(ウクライナ支援指定寄付)
○小原自動車工業様 10万円 ○東亜リース様 5万円 ○ネット保険様 5万円
○ユニバース様 10万円相当物品 すてっぷへ

Ⅵ きょうされんと連携した活動

1 要望活動

(1)利用者さんの権利拡大や生活向上、事業所運営の改善のための活動
○国会請願署名募金活動を地域・企業の皆さんにお願いしました
・トヨタ関連企業様
・がんばるデイ街頭署名募金 3月4日 コープアテルイ
○県選出国会議員への請願署名紹介議員の要請活動　5月25日 衆参議員会館

2 全国・東北ブロックと連携した活動

(1)全国との連携
○全国総会への参加　5月24日 東京
○第46回全国大会 in 埼玉への参加 8月30日、31日 大宮ソニックシティ

○理事としての参画 栗田誠理事

(2) 東北ブロックとの連携

○東北ブロック代表者会議への参加

○東北ブロック交流会 10月27日、28日 秋田横手

○東北ブロックとも育ち研修 2月3日 宮城

3 岩手支部の活動

○総会 4月15日 陸前高田

○各地での上映会「星に語りて」「夜明け前」5回上映

○陸前高田産業まつりでの販売 10月21日、22日 陸前高田市

○岩手支部研修会 1月12日 陸前高田

Ⅶ スペシャルオリンピックス日本・岩手 県南ブランチの活動

1 県本部と連携した活動

○県運営委員会への参画 毎月 Zoom参加が基本

○県3ブランチ合同交流会への参加 7月1日 ふれあいランド岩手体育館

○フライングディスクコーチクリニックの開催 5月21日 はっぴいウイング

○新幹線駅巡りの軽運動活動 4月から10月

2 県南ブランチの活動

○GOAコーチクリニック 5月13日 はっぴいウイング

○フライングディスクコーチクリニックへの参加 5月21日 はっぴいウイング

○フライングディスク交流会 9月9日 はっぴいウイング

○ボウリング交流会 10月21日 ボウリングクオリア

○クリスマスお楽しみ交流会 12月16日 はっぴいウイング

○事務局会議 随時

令和５年度 評議員選任･解任委員会の開催状況

開催年月日	出席者数／総数（選任・解任委	議　題	出席者氏名（選任・解任委員）	欠席者氏名（選任・解任委員）
令和6年 3月27日	3／3	社会福祉法人ひまわり会退任評議員の補充候補者の選任(案)について	及川 定治 千葉 忠範 高野 康晴	なし

令和５年度 評議員会･理事会の開催状況

(1) 評議員会

開催年月日	出席者数／総数（評議員）	議　題	欠席者氏名（評議員）
令和5年 6月28日	8／8	社会福祉法人ひまわり会 令和4年度事業報告の承認について 社会福祉法人ひまわり会 令和4年度決算の承認について 社会福祉法人ひまわり会 令和5年度第1次補正予算（案）について 社会福祉法人ひまわり会 第14期理事･監事の選任について	なし
令和5年 8月10日 （決議省略）	8／8	就労継続支援B型事業所すてっぷの土地建物の寄附の受諾について	なし
令和5年 10月12日 （決議省略）	8／8	社会福祉法人ひまわり会 定款の一部変更(案)について	なし
令和6年 3月27日	8／8	社会福祉法人ひまわり会 令和5年度第2次補正予算(案)について 社会福祉法人ひまわり会 令和6年度事業計画（案）について 社会福祉法人ひまわり会 令和6年度収支予算（案）について	なし

(2) 理事会

開催年月日	出席者数／総数（理事）	出席者数／総数（監事）	議　題	欠席者氏名（理事・監事）
令和５年 6月13日	6／7	2／2	社会福祉法人ひまわり会 令和４年度設備等整備積立金について 社会福祉法人ひまわり会 令和４年度事業報告の承認について 社会福祉法人ひまわり会 令和４年度決算の承認について 社会福祉法人ひまわり会 積立金の取崩（案）について 社会福祉法人ひまわり会 令和５年度第１次補正予算(案)について 社会福祉法人ひまわり会 第14期理事・監事の推薦(案)について 社会福祉法人ひまわり会 令和５年度定時評議員会の招集(案)について 社会福祉法人ひまわり会 令和５年度６月賞与支給について	阿部 廣
令和５年 6月28日	7／7	2／2	社会福祉法人ひまわり会 第14期理事長の互選について 社会福祉法人ひまわり会 第14期業務執行理事の互選について	なし
令和５年 7月25日 （決議省略）	7／7	2／2	就労継続支援Ｂ型事業所すてっぷの土地建物の寄付の受託について 社会福祉法人ひまわり会 令和5年度第2回評議員会にかかる決議事項の提案について	なし
令和５年 9月27日	6／7	2／2	社会福祉法人ひまわり会 定款の一部変更（案）について 社会福祉法人ひまわり会 給与規程の一部改正（案）について 社会福祉法人ひまわり会 臨時職員及びパート職員就業規程の一部改正（案）について 社会福祉法人ひまわり会 令和5年度第3回評議員会にかかる決議事項の提案について	阿部廣
令和５年 12月4日	7／7	2／2	社会福祉法人ひまわり会 令和5年度12月賞与の支給（案）について	なし
令和６年 3月19日	6／7	2／2	社会福祉法人ひまわり会 施設長の選任（案）について 社会福祉法人ひまわり会 工賃変動積立金の取崩（案）について 社会福祉法人ひまわり会 令和5年度第2次補正予算（案）について 社会福祉法人ひまわり会 職員就業規則の一部改正（案）について 社会福祉法人ひまわり会 給与規程の一部改正（案）について 社会福祉法人ひまわり会 臨時職員及びパート職員就業規程の一部改正（案）について 社会福祉法人ひまわり会 令和6年度事業計画（案）について 社会福祉法人ひまわり会 令和6年度収支予算（案）について 社会福祉法人ひまわり会 評議員の選任（案）について 社会福祉法人ひまわり会 評議員選任・解任委員会の招集（案）について 社会福祉法人ひまわり会 令和5年度第2回評議員会の招集（案）について	阿部廣

令和５年度 監査の状況

(1) 監事監査の実施状況

監　査 年月日 ・時間	監査実施者名	監査結果の内容及び 指示・指摘事項 （具体的に記載のこと）	改善状況	今後の改善計画
令和５年 6月7日 9:30～ 11:30	及川 定治 関口 善之介	出納調査（令和４年度分） (1)月次報告は、毎月試算表が作成されており、適正に行われている。 (2)収納した金銭は、取引金融機関にその都度預け入れされている。 (3)金銭の支払いは、出納責任者・会計責任者の確認及び押印がなされている。 (4)日々の取引の記帳は、証憑書類が保存されており、それに基づき正確に行われている。 (5)小口現金出納帳は、証憑書類に基づき正確に記載されており、残高に誤りがない。 (6)現金は、適正に管理されており、残高に誤りがない。 (7)預金は、適正に管理されており、残高に誤りがない。 決算監査 (1) 事業報告等の監査結果 ① 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。 ② 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。 (2) 計算関係書類及び財産目録の監査結果 計算書類及び財産目録については、法人の財産、収支及び純資産の増減の状況を全ての重要な点において適正に表示しているものと認めます。		
令和5年 11月17日 9:30～ 12:00	及川 定治 関口 善之介	業務調査・出納調査 (1)施設・事業の運営管理 (2)施設の管理・災害や感染症、事故防止への取組み (3)福祉サービスの質の向上のための取組み (4)職員の労務管理 (5)小口現金、通帳、金券等の適切な管理 (6)契約状況 以上、チェックシートにて確認し、指摘事項等はなし。		

令和5年 12月14日 10:00~ 11:30	及川 定治 関口 善之介	出納調査(令和5年度上半期分) (1)月次報告は、毎月試算表が作成されており、適正に行われている。 (2)収納した金銭は、取引金融機関にその都度預け入れされている。 (3)金銭の支払いは、出納責任者・会計責任者の確認及び押印がなされている。 (4)日々の取引の記帳は、証憑書類が保存されており、それに基づき正確に行われている。 (5)小口現金出納帳は、証憑書類に基づき正確に記載されており、残高に誤りがな い。 (6)現金は、適正に管理されており、残高に誤りがない。 (7)預金は、適正に管理されており、残高に誤りがない。		

令和5年度 サービス利用状況（延べ利用人数）

事業所名	ひまわり園

【「（現員）」は、当年度4月1日現在の利用者人数】

サービスの種類	多機能型（生活介護、就労継続支援B型）事業所										定員 40 名	現員 50 名
サービスの種類	生活介護										定員 23 名	現員 30 名
令和5年度 開所日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	22	21	21	22	21	22	23	22	22	20	21	22	259
延べ利用人数	605	572	559	597	549	553	615	601	555	520	524	547	6,797
利用率（%）	119.6	118.4	115.7	118.0	113.7	109.3	116.3	118.8	109.7	113.0	108.5	108.1	114.1
サービスの種類	就労継続支援B型										定員 17 名	現員 20 名
延べ利用人数	424	395	386	418	388	387	433	418	405	376	375	415	4,820
利用率（%）	113.4	110.6	108.1	111.8	108.7	103.5	110.7	111.8	108.3	110.6	105.0	111.0	109.5
											定員 40 名	現員 50 名
延べ利用人数（合計）	1,029	967	945	1,015	937	940	1,048	1,019	960	896	899	962	11,617
利用率（%）	116.9	115.1	112.5	115.3	111.5	106.8	113.9	115.8	109.1	112.0	107.0	109.3	112.1

サービスの種類	日中一時支援事業										定員 15 名	
令和5年度 開所日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	20	20	21	20	19	20	20	19	20	19	19	20	237
延べ利用人数	191	191	180	173	181	174	197	180	172	165	159	183	2,146
利用率（%）	63.7	63.7	57.1	57.7	63.5	58.0	65.7	63.2	57.3	57.9	55.8	61.0	60.4

事業所名	すてっぷ

サービスの種類	就労継続支援B型										定員 20 名	現員 23 名
令和5年度 開所日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	22	21	21	22	21	22	23	22	22	20	21	22	259
延べ利用人数	490	452	457	484	442	475	513	457	486	445	450	468	5,619
利用率（%）	111.4	107.6	108.8	110.0	105.2	108.0	111.5	103.9	110.5	111.3	107.1	106.4	108.5

事業所名	はっぴいウイング

サービスの種類	生活介護										定員 20 名	現員 26 名
令和5年度 開所日数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
	22	21	21	22	21	22	23	22	22	20	21	22	259
延べ利用人数	505	458	462	423	447	467	495	453	457	413	439	459	5,478
利用率（%）	114.8	109.0	110.0	96.1	106.4	106.1	107.6	103.0	103.9	103.3	104.5	104.3	105.8

事業所名	相談支援事業所ひまわり（はっぴいウイング）

サービスの種類	相談支援												
令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延べ利用人数（サービス利用支援）	13	4	29	29	27	17	16	19	15	12	12	10	203
うち、児童の利用													0
延べ利用人数（継続利用支援）	33	26	23	22	30	23	24	21	28	24	29	28	311
うち、児童の利用	1				2					1	2		6
延べ利用人数（合計）	46	30	52	51	57	40	40	40	43	36	41	38	514

事業所名	ひまわり荘

サービスの種類	共同生活援助						定員 5 名		実質定員 5 名			現員 5 名	
令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延べ利用人数	149	151	150	155	153	150	154	119	120	120	116	124	1,661
利用率（%）	99.3	97.4	100.0	100.0	98.7	100.0	99.4	79.3	77.4	77.4	80.0	80.0	90.8

事業所名	柿の木荘

サービスの種類	共同生活援助								定員 4 名			現員 4 名	
令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延べ利用人数	119	119	109	122	120	119	123	119	121	119	115	124	1,429
利用率（%）	99.2	96.0	90.8	98.4	96.8	99.2	99.2	99.2	97.6	96.0	99.1	100.0	97.6

事業所名	とも

サービスの種類	共同生活援助						定員 10 名		ゆう 5 名			あい 5 名	
令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開所日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	29	31	366
延べ利用人数（ゆう）	148	148	146	152	146	147	154	146	138	142	143	152	1,762
延べ利用人数（あい）	145	143	143	144	145	148	150	145	145	143	139	149	1,739
延べ利用人数（合計）	293	291	289	296	291	295	304	291	283	285	282	301	3,501
利用率（%）	97.7	93.9	96.3	95.5	93.9	98.3	98.1	97.0	91.3	91.9	97.2	97.1	95.7